

# 東ト協青年部情報紙



## 「残していくもの」と「変えていくもの」

本部長 結城 賢進 (深川支部 結城運輸倉庫(株))

皆さん、こんにちは。日頃は、当青年部の事業活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

去る7月22日(土)、恒例の(一社)大阪府トラック協会青年部会との意見交換会を開催しました。東京から14名が、大阪・心斎橋の「大成閣」に赴き、大阪のメンバー17名と併せて、計31名での開催となりました。今回で12回目となる歴史ある意見交換会、その伝統をしっかりと受け継ぐ部分と、これからの時代の変化に対応していく部分、つまりは、「残していくもの」と「変えていくもの」は何かを意見交換会のテーマとして、大阪の谷部会長と事前に打ち合わせを重ねて、開催に至りました。

まず第一部は、「自社PRを通じてお互いを知る」ということで、1グループ7～8名で、事前に準備した自社PR表を使用して、自社紹介を実施しました。

第二部では、例年、テーマを2～3個、事前に用意して、グループ討議を行ったうえで発表する形式でしたが、今回は社会や顧客が求める真のニーズを発見する創造的な思考・プロセスである「デザイン思考」のワークショップを行いました(※「デザイン思考」のワークショップの内容を含め、意見交換会の模様は東京都トラック協会青年部のHP上で公開されておりますので、是非一度ご覧下さい)。

「デザイン思考」とは、この世に存在しないものについて、顧客に聞いても答えが得られない、だからこそ、顧客の立場に立って、「何が本当の問題なのか、真の問題は何なのか」を徹底的に追求していくプロセスで、端的に言えば、「解答」「解決策」を見つけるというよりも「問題文」を見つける、「どの問題を解くか」を探し出す、というイメージです。この世の中を変えた、イノベーションをもたらした人々は、この思考を持ち合わせていたようです。

旧態の思考のままでは、この業界や、自社の変革は、成しえません。そうした想いのもと、新たな試みによる、青年ならではの勉強会ができたと思っております。今後も、「残していくもの」「変えていくもの」を意識しながら、青年ならではの活動を行っていきたく思っておりますので、どうぞよろしく願います。

※青年部HP <http://www.ttas.jp/>

「東京都トラック協会青年部」で検索。

2017年(平成29年)8月18日

夏号 No. 74

(一社)東京都トラック協会青年部発行

編集者: 広報委員長 中西 亮介(板橋支部・成増運輸(株))

東京都新宿区四谷三丁目1-8

TEL: 03-3359-4137

FAX: 03-3359-6020

青年部HP <http://www.ttas.jp/>

※青年部HPに活動報告を掲載!

## 支 部 だ よ り

### ◇港支部

連日の猛暑が続き、青年部会員の皆様、体調管理は如何でしょうか。港支部の活動と致しましては、6月の支部総会も滞り無く終了し、今年度も小学校での交通安全教室や、地域イベントでの出展等、引き続き、社会貢献活動、業界PR活動等を中心に、取り組みを実施致します。

皆様もご承知のように、最近では、特に物流業界の人手不足が大きく取沙汰されております。経済紙でも、週に数回以上に渡る物流関連記事の掲載、政府による検討会の設置等、私達、物流事業者のあいだでは、早くから顕在化されていたこの問題がようやくメディアにも大きく取り上げられ、世間一般に広く知れ渡る事となりました。しかし、知れ渡るだけでは意味がありません。いかにして、この業界に人を呼ぶか。それが肝だと思えます。

港支部では、10月に、例年実施しております「港運河祭り」へ出展し、ロゴ入り風船やノベルティの配布、子供達を対象に交通安全のDVDの放映等を企画し、業界のPR活動を実施予定です。また、同月開催の支部主催ウォーキングイベントにおいては、お台場周辺にて、港支部のキャラクターである「トドケルンジャー」が出勤し、同じくPRに向けてノベルティ配布等を行う予定でおります。

結びになりますが、支部活動を通じ、より多くの方々に業界PRを行う事で、人手不足問題解決の一助になればと思っております。

部長 新井 裕輔 汐留運送(株)

### ◇目黒支部

残暑お見舞い申し上げます。猛暑の続く中、めげずに頑張っていきたいと思う今日この頃です。

活動としては、8月4日に目黒署の方を講師に招き、事故防止大会を行いました。講話の中で、事故そのものは減少傾向にあるものの、自転車も車輦であるという意識がなかなか根付きにくいのか、自転車による事故が未だに多いようです。そして、巻き込み防止運動など、安全意識向上のために警察や業界も色々と苦心していますが、自転車しか乗らない方々には、なかなか伝わりにくいようです。任意保険に入る必要

性を感じない方々や、自転車なら大丈夫のような安易な考えをもたれている方々が、実際に事故を起こしてから、初めてその危うさを痛感されていると伺いました。みなさまも気を付けて自転車に乗られるようにして下さい。

他には、9月4日に目黒区の防災訓練に参加、9月17日には地元の秋祭りで、ノベルティの配布と共に交通安全の啓蒙活動を行なう予定です。

目黒は、支部そのものの規模が小さいため、青年部単独での活動が少しばかり難しい現状がありますが、本部青年部を通じて、ブロック間でのお付き合いができてきました。今年も世田谷支部・渋谷支部青年部と交流を深め、イベントも合同で開催させて頂いています。

私事となりますが、ふと気がつけば、私も5人の本部長のもとで活動に参加し、すっかり古参となってしまいました。そのせいか、そろそろ次代の事も考えねばと思うような時がありますが、人員の少なさに頭を悩ませます。

当支部が例外と思いたいのですが、会員数も往年の頃の半数にも満たない26社、登録車両249車両まで減少し、支部運営そのものも考えねばならない状況なのかもしれません。しかしながら、本部青年部を通して、皆さんから学ぶ機会を得て、これからの支部を考える力を頂いています。これからも皆さまのお力を借りて、頑張っていきたいと思っております。宜しくお願い致します。

部長 高橋 益衛 (株)セイショウ

## ◇墨田支部

皆さまお疲れ様です。墨田支部青年部長を拝命させて頂いています高木隆光と申します。

6月10日から1泊2日で青年部総会を福岡県にて行いました。無事に全会一致で承認を頂き、総会を終える事が出来ました。会員どうしが親交を深め、活発に活動することを通じて、知識・経験を積み重ねて成長し、それぞれの会社の発展に貢献する事が出来ればと思っています。

墨田支部青年部の活動としては、初めて墨田区立小学校に交通安全啓発用の置き傘を寄贈しました。急な雨の帰り道でも交通事故に遭わないように、雨が降って視界が悪くなった時でも車から目立つように黄色にし、前方を見やすくする為に、傘の一部を透明にしました。また、小さな一年生でも使いやすいように傘を閉じた時の長さを50cmとしました。この傘によって1件でも交通事故が減る事になればと願っております。

部長 高木 隆光 高木運輸(株)

## ◇深川支部

皆様、こんにちは。7月26日(水)に、深川支部青年部では、支部青年部内のヒューマンネットワークの構築及び、情報交換を目的として、青年部会員と各社実務者を交えた、交流会を開催致しました。

今回、この交流会を開催するきっかけは、青年部会員どうしは、各社がどのような車両を持っていて、どのような商品を運んでいるといったことは、ある程度把握していましたが、

去年の年末に、海上コンテナ輸送をメインにしている会員さんから、ウイング車の相談を頂き、私が把握していた以外の仕事があるということがわかり、会員各社の情報共有を密に行きたいとの思いで、実務をされている方も参加して頂き、交流会を開催することになりました。

初めての試みでしたので、どれくらいの参加人数が集まるのか、開催方法など悩みましたが、20名の方に参加して頂きました。参加者の方に実施したアンケートにおいても、参加して良かった旨のお答えを頂きましたので、今後も青年部だけではなく、支部全体にも広げて、更なるヒューマンネットワークを構築して情報共有を図っていきたいと思っております。

部長 奥井 亮祐 磯村運輸(有)

## 行事予定

### ★江戸川区立船堀第二小学校での交通安全教室

- (1) 平成29年10月5日(木)(2年生対象)
- (2) 平成29年10月18日(水)(1年生対象)

### ★関ト協青年部会「研修見学会」

平成29年11月2日(木)

於：自動車安全運転センター安全運転中央研修所

茨城県トラック総合会館防災・研修センター

※見学後は、「ホテル テラス ザ ガーデン水戸」にて見学発表会、交流会を実施。

### ★東ト協青年部「海外研修」

平成29年11月14日(火)～18日(土)

於：ベトナム・ホーチミン

物流企業の視察や、現地の企業の方々との交流会を検討中！

### ★東ト協「青年経営者研修会」及び、青年部忘年会

平成29年11月28日(火)

※開催場所、内容等は検討中。

### ★東ト協青年部「親睦ゴルフ大会」

平成29年12月9日(土)

※開催場所は検討中。

### ★東ト協三組織「合同セミナー・新年会」

平成30年2月8日(木)

於：京王プラザホテル(新宿)

※内容等は検討中。(今回はロジ研が担当)

### ★全ト協青年部会「全国大会」

平成30年2月22日(木)

於：京王プラザホテル(新宿)

※内容等は検討中。

## お知らせ

★「トラックこどもパーク(9/16, 17)」(業界有志により開催)

トラック事業者の仲間とニューワールドアワーズスポーツ救命協会(代表:蝶野正洋)の協力を得て、昨年トラックフェスタを開催した場所(代々木公園)にて、トラックを広く知ってもらうためや、安全等をテーマに、有志により開催する「トラックこどもパーク」というイベントの準備を進めています。そこで、是非皆様の運営協力等のお力添えを頂けたら幸いと存じます。 目黒支部 高橋 益衛 (株)セイショウ

### ◇関東トラック協会青年部会関東ブロック大会に参加して

初めて、関東ブロック大会に参加させていただきました。物流ジャーナリストの森田 富士夫様の基調講演で始まり、その後の「スグキク」というアプリを使った参加型のセッションは、運送業界ではなかなか想像もできないプログラムであり、「さすが関東ブロック!」と興奮したのを覚えています。これからの運送業界は、私達のような青年が業界の常識を覆し、様々なことへチャレンジすることで、今まで運送業界に興味のなかった若者なども集まってくるのではと期待ができます。

「スグキク」によるアンケートでは、正直ビックリするような結果も多くありましたが、それが現在の運送業界の縮図と真正面から受け止め、まずは自社が、若者が集まってもらえるような魅力ある会社になりたいです。地域の方々から私達の会社を見て、「あら、最近の運送会社って元気な若い人が多くていいわね」と言わせることが、業界を変えていくことだと考えます。

これからの青年の大会としては、そんな活動をしている仲間に30分×3名程度のプレゼンテーションをしてもらい、その後の懇親会を、今までのようなワイワイとした会食の会とは違ったネットワーキングやミートアップ(少人数から20~30人くらいの人数でカフェやコミュニティースペースで集う小規模ミーティング・交流会)といったスタイルにし、参加したみんなで先進的な活動をシェアできるような大会になったら良いのではと思いました。

「関東ブロック大会はワクワクするんだよな。なぜって、他の団体でもやるような研修会や運送業界の旧態的なプログラムではなく、今の旬なシステムや活動を知ることができるんだぜ!」そんな大会を期待します。

千代田支部 江川 哲生 (株)ライフサポート・エガワ

## 【関東ブロック大会・大会宣言】



### ◇東京・大阪の青年組織による意見交換会に参加して

東京と大阪の青年組織による意見交換会は、今回で12年目となり、総勢で31名の青年部会員が集まりました。まず、初めて大阪の谷部会長と東京の結城本部長が、今回の意見交換会の趣旨を説明されました。

#### 今回の意見交換会の概要

今回の意見交換会は、まず、お互いの会社を知ること。そして、お二人が今年の5月にシリコンバレーへの視察で学ばれた内容と、その際にスタンフォード大学で体験された、「デザイン思考(デザインシンキング)」についてのプレゼンテーション。最後に「デザイン思考」を用いたワークショップを体験する、という内容でした。

#### 「自社PR」~まずはお互いを知るところから~

大阪と東京の参加者が8名ほどのグループにわかれ、グループごとに自社PRを行いました。自社の強みや困っていることなどを皆に伝え、それについて質疑応答することで、初めてお会いした方でも、お互いをよく知ることができました。自社のことを色々な方に質問されてみて、自分では気付かない点や、忘れていたことなどを改めて考えることが出来ました。自己紹介だけでは、印象に残らない場合もありますが、質疑応答の時間があることによって、より深い所まで、お互いを知ることが出来たので、とても良い経験をさせて頂きました。

#### 「デザイン思考」とは ~シリコンバレーの思考法~

そして次に、デザイン思考について、谷部会長よりプレゼンをしていただきました。プレゼンの内容に関しては、谷部会長と結城本部長が5月に、スタンフォード大学で学ばれてきた、シリコンバレーの企業が事業を成長させるスピード感について、デザイン思

考が要因となっている旨、説明して頂きました。

また、谷部会長のプレゼンは、デザイン思考とはどういったものかというのがとても分かり易く、特にある程度、事業の枠組みや方向性が決まったら、事業をスタートさせ、試行錯誤をしながら事業を成長させていくということが印象的でした。

実際にシリコンバレーにある企業は、ビジネスモデルについて、1. 技術的に可能、2. 利益が出る、3. 社会の為になる、という方向性をもって、頭のなかでイメージした事を、チームで話し合い、共有し、それを実際に具体化させて、イメージでしかなかったものを現実の物にする。それに付随する問題点と、その解決策までを短い時間で考え、ビジネスのストーリーラインを形作り、それに沿ってビジネスを始める。それをほぼ毎日繰り返すように行い、とてつもないスピードで成長を遂げており、このような考え方をすることで、イノベーションが起せるという事が理解できました。

### 実際に「デザイン思考」を体験 ～まずは、各社が抱えている課題を共有～

また、そのイメージを具現化させるという行程をワークショップ(体験型の勉強会)という形で、いくつかのグループに分かれて実施致しました。具体的には、グループごとに一人一人が抱えている課題を出し合いました。それは、会社が抱えている課題や従業員が抱えているであろう課題等なんでも良いので、思いつく限りの課題を挙げていきました。続いて、グループ内の共通の課題から、連想出来る人物像(職場で不満を抱えている従業員等)を考えだし、その人物は、どのような人物なのか、名前・年齢・職業・家族構成・趣味、そして、どんなことを考えているか、どんなことに不満を持っているか、などを想像して書き出した。その人物像の似顔絵もイメージで描いた。

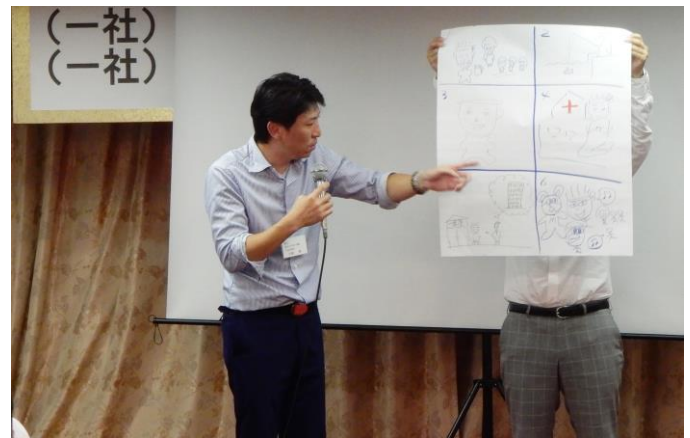
【課題をふせんに書いたものを貼っていき、共有。】



### グループごとに発表 ～課題の解決策を6コマまんがで表現～ ※課題に関係する「人」がハッピーになるように！

その作り上げた人物像が持つ不満や、悩み、課題というものを、どうしたら解決出来るか？ということを考え、結論まで導き出した。かかった時間はおよそ1時間半で、実在はしないがイメージ上の人物の悩みや課題、そして、その解決策までを考えるというプロセスを体験した。その解決策をもって、6コマまんがを書き、グループごとに発表を行いました。

これは、実際のビジネスにおいても、「こんな事が出来ないかな」と思う様な事を、チームで共有し、発言し、文字に書き起こす。そして、それに具体性をもたせ、何を成し遂げたいのか？という方向性に基づいて、それが達成できるまでのプロセスと問題点を出し合う。その問題点に対する解決策を考えだせば、そのビジネスモデルのストーリーラインが出来上がるので、一つのビジネスモデルが完成する。【グループごとに発表】



### 「デザイン思考」 ＝課題を見つけ出す→解決策までが速やかに。

これを自社の問題についてあてはめると、課題から結論まで導き出すというプロセスを、短い時間で、築き上げていくことができるのではないかと考えました。すぐにやってみるという、そのスピード感がとても大切なことだと感じました。

私は今回初めて大阪の青年部会との意見交換会に参加させていただきました。皆さんとても感じが良く、初めての私を暖かく迎え入れてくれました。グループで分かれた際も、きちんと自分の意見をお持ちの方が多く、活発な意見が飛び交い、とても良い経験をさせていただきました。

今回、この意見交換会に参加することで、大変有意義な時間を過ごすことができました。また、このような機会があれば参加させていただきたいと思っております。

荒川支部 出島 康佑 安立運輸(株)

※次号は12月発行予定です！